

## プロジェクト名：インドネシア国ローカン川流域灌漑開発計画調査

(調査期間：1992年2月～2.5ヵ月、担当業務：土地利用計画)

### 調査背景

インドネシア共和国スマトラ島のローカン川流域は、土地・水資源に恵まれ高い農業ポテンシャルを有しているため、域内には移住事業、プランテーション事業等の諸事業が進行している。そのため、農業生産性の向上と安定化及び移住事業支援のための流域全体の調和のとれた灌漑農業開発計画の必要性及び緊急性が評価され、本調査が日本政府に要請された。調査の目的は流域全体の水資源の賦存量を考慮しつつ、灌漑開発を柱とする開発基本構想を策定し、優先開発対象地区について灌漑計画を立案したうえ事業の技術的可能性及び経済的妥当性について評価検討を行うものである。

### 調査概要

本調査は総括、灌漑排水、水文気象、土質地質、流域開発、土壌・土地利用、営農栽培、農業経済、施設計画、事業評価の10人の専門家で構成された調査団によって調査が行われ、フェーズ1調査では水資源開発基本構想を策定し、フェーズ2調査では優先開発対象地区の灌漑計画を策定した。特に、土地利用計画の立案に当たっては、土壌・現況土地利用及びその他の自然的社会的条件を十分に配慮して行った。この際、持続的な土壌及び水資源の利活用に着目すると共に、住民の燃料源ともなっている森林の保全も考慮した計画の策定に努めた。

### 担当事項

- 土壌断面記載、土壌試料の採取、分析データの解析及び土壌図の作成。
- 現地踏査及び土壌図に基づいた作物別分級図の作成。
- 現地踏査及び航空写真の判読結果に基づいた現地土地利用及び植生図の作成。
- 灌漑開発対象地域における土地利用計画図の作成。

